

徳 島 県

埋蔵文化財センター年報

Vol. 21 2009年度

2011

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



川西遺跡の護岸遺構



西州津遺跡 縄文時代貯蔵穴群



西州津遺跡 貯蔵穴内の堅果類出土状況

はじめに

本書は、平成21年度に財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

当年度も、徳島県から委託を受け、発掘調査・出土資料整理・普及事業などを実施し、大きな成果を上げることができました。

発掘調査では、4つの調査班により、9遺跡の発掘調査を実施しました。徳島市川西遺跡は前年度からの継続調査で、園瀬川の旧河道に築かれた石積み護岸遺構が検出されました。鎌倉時代に築かれた護岸が年代とともに変遷する様子が明らかとなり、我が国の土木技術史上きわめて重要な価値を持つものとして、諸関係者の理解のもと現地での保存措置が執られました。

その他の遺跡では、宮ノ本遺跡・大松遺跡・西州津遺跡での調査成果は、現地での見学会にて公開を行いました。それぞれに地域の歴史をより豊かに語ることのできるものです。

出土資料整理事業においては、宮ノ本遺跡、徳島城下町跡、南庄・名東遺跡の整理と分析を行い、過年度整理された観音寺遺跡・延命遺跡とともに報告書の刊行を行いました。

普及事業では、県が実施している『いにしえ夢街道推進事業』関連のシンポジウムや企画展、郷土文化教育教材の整備などを行いました。

県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者として、自主事業「毎日できる古代体験」などの体験メニューのほか、財団創立20周年のシンポジウムや4回の企画展を実施するなど、より利用しやすい施設として運営にも努めて参りました。

平成22年4月には公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターとして新たに生まれ変わりました。今後とも、県民のみなさまの期待に添うよう努力して参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 福家清司

目 次

I	財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	4
II	平成21年度事業概要	6
III	調査事業報告	10
	県事業関連発掘調査	
	川北遺跡 渋野遺跡	13
	国事業等関連発掘調査	
	宮ノ本遺跡 川西遺跡	14
	大松遺跡 西州津遺跡	15
	新居見遺跡 高樹遺跡	16
IV	整理事業報告	17
V	普及事業報告	19
	1 管理運営業務	19
	2 郷土文化教育教材整備事業	19
	3 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	19
	4 普及事業の共催	21
	5 その他の普及事業	23

例 言

- 1 本書は財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成21年度事業をまとめた年報である。
- 2 III 調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行1/50,000地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III 調査事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。

平成 21 年度 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの組織

役員

理事長	福家 清司	県教育委員会教育長
副理事長	岡田 一郎	前海陽町立博物館長
専務理事	阿部 修三	
常務理事	近松 克仁	県教育委員会局付
理事	和田 萃	京都教育大学名誉教授
	石田 啓祐	徳島大学教授
	佐々木清克	徳島文理大学准教授
	吉田 一紀	専門学校穴吹カレッジ校長
	立石 恵嗣	前県立文書館長
	竹原 紀幸	県教育委員会文化財課長
監事	原 孝仁	公認会計士
	数藤 義剛	県教育委員会生涯学習政策課長

職員

専務理事(所長)	阿部 修三
常務理事(事務局長)	近松 克仁

総務課

課長	三好 修基
庶務係長	氏家 敏之
事務主任	野田登記子
経理嘱託員	大浦 理枝
	池田 幸子

事業課

課長	石井 伸夫
研究主査	久保聡美朗
調査1係長	藤川 智之
調査2係長	原 芳伸
主任研究員	近藤 玲
	田川 憲
	大北 和美
研究員	西本 和哉
研究補助員	新居 弘規
	美島 裕太 (～H21.9.8)
	佐藤 俊祐 (H21.10.1～)
整理係長	栗林 誠治
主任研究員	大橋 育順
	島田 豊彰
臨時補助員	田中 一美 (H21.10.1～)
主査兼普及係長	山本 正弘
主任研究員	植地 岳彦
受付案内嘱託員	種ヶ嶋絵理
臨時補助員	岩瀬 香澄 (H21.11.1～)

理事会



I 財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査、研究を行うとともに、文化財の保護意識の啓発普及を図り、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年4月1日（徳島県教育委員会指令教文第71号で設立許可）

3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の調査、研究
- (2) 出土した文化財の整理、保存
- (3) 埋蔵文化財の活用
- (4) 保護意識の啓発普及
- (5) 埋蔵文化財調査技術の指導等
- (6) 埋蔵文化財の資料収集、整理保存、報告書の刊行
- (7) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務
- (8) その他

4 資産及び会計

- (1) 資産構成 財団設立当初の財産、寄付金品、事業収入、資産収入、その他収入
- (2) 資産種別 基本財産、運用財産
- (3) 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- (4) 基本財産 10,000,000円
- (5) 決算額 465,879,000円（平成21年度事業収入）

5 役員（平成21年4月1日現在）

- (1) 理事 10名（定数は3名以上10名以内、うち理事長1名、副理事長1名、専務理事1名、常務理事1名）
- (2) 監事 2名
- (3) 任期 2年（平成21年4月1日から平成23年3月31日まで）
- (4) 理事会
機能 法人の業務に関する重要な事項を議決し、執行する。
開催 通常理事会（年2回開催）、臨時理事会

6 施設

徳島県立埋蔵文化財総合センター

- ①所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2
- ②敷地面積 16,093㎡
- ③建物 鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）建築面積2,554.05㎡、事務室、研究員室、展示室、図書資料室、情報処理室、分析室、収蔵庫、機材保管室、整理復元室、写真撮影室、木器、鉄器処理室など
- ④総事業費 2,164,000,000円

7 事務局職員（平成21年4月1日現在） 合計47名

(1) 常勤職員 23名

内訳 派遣教職員 5名（うち社会教育主事1名）

財団職員 17名（うち所長1名，嘱託員3名，研究補助員2名）

(2) 非常勤職員 24名

内訳 調査補助員 8名

作業員 16名

Ⅱ 平成 21 年度事業概要

1 理事会の開催状況について

(1) 第 74 回臨時理事会

開催日 平成 21 年 4 月 1 日 (火)

議案 財団役員の選任について

(2) 第 75 回通常理事会

開催日 平成 21 年 6 月 5 日 (金)

議案 平成 20 年度事業報告について
平成 20 年度事業収支決算について
職員給与規程の改正について

(3) 第 76 回通常理事会

開催日 平成 21 年 10 月 30 日 (金)

議案 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター定款の変更(案)について
最初の評議員の選出方法について
退職手当支給規程の改正について

(4) 第 77 回臨時理事会

開催日 平成 22 年 3 月 3 日 (水)

議案 財団役員の選任について

(5) 第 78 回臨時理事会

開催日 平成 22 年 3 月 26 日 (金)

議案 平成 21 年度事業計画の変更について
平成 22 年度事業収支決算の補正について
平成 22 年度事業計画について
平成 22 年度事業収支予算について
諸規程の改正について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務の実施

徳島県から委託を受け、次の 8 遺跡について発掘調査業務を行った。

① 猪ノ鼻道路(州津地区)関連埋蔵文化財発掘調査

三好市池田町 西州津遺跡 発掘調査面積 4,100㎡

② 四国横断自動車道(阿南～小松島)関連埋蔵文化財発掘調査業務

小松島市新居見町 新居見遺跡 発掘調査面積 2,780㎡

③ 徳島南環状道路(川西地区)関連埋蔵文化財発掘調査業務

徳島市上八万町 川西遺跡 発掘調査面積 800㎡(延べ 1,200㎡)

④ 吉野川下流域農地防災事業大寺工区埋蔵文化財発掘調査業務

板野郡板野町 高樹遺跡 発掘調査面積 240㎡

⑤桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務			
阿南市長生町	宮ノ本遺跡	発掘調査面積	7,750㎡
⑥四国横断自動車道（徳島～鳴門）埋蔵文化財発掘調査業務			
徳島市川内町	大松遺跡	発掘調査面積	3,560㎡（延べ4,720㎡）
⑦県単局部道路改良事業（八多法花線）関連埋蔵文化財発掘調査業務			
徳島市渋野町	渋野遺跡	発掘調査面積	600㎡（延べ1,200㎡）
⑧広域基幹河川改修事業（園瀬川）関連埋蔵文化財発掘調査業務			
徳島市上八万町	川北遺跡	発掘調査面積	690㎡
合計		発掘調査面積	20,520㎡（延べ22,680㎡）

(2) 出土埋蔵文化財整理業務の実施

徳島県から委託を受け、次のとおり出土埋蔵文化財の整理業務を行った。

①桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務			
阿南市長生町	宮ノ本遺跡	コンテナ	200箱
②緊急道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）関連埋蔵文化財整理			
徳島市安宅2丁目	徳島城下町跡安宅2丁目地点	コンテナ	70箱
③緊急地方道路整備事業（主要地方道鳴門池田線）関連埋蔵文化財整理業務			
美馬市脇町	拝原東遺跡	コンテナ	140箱
④徳島東部都市計画道路3.4.22号庄名東線関連埋蔵文化財整理業務			
徳島市名東町・南庄町	名東遺跡・南庄遺跡	コンテナ	70箱
		整理コンテナ総数	合計 480箱

(3) 発掘調査報告書の作成

次の6遺跡の発掘調査結果を報告書として作成した。

①徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査整理			
徳島市国府町	観音寺遺跡（Ⅲ）		500部
徳島市国府町	延命遺跡（Ⅰ）		500部
②桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財出土品整理			
阿南市長生町	宮ノ本遺跡（Ⅱ）		500部
③緊急道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）関連埋蔵文化財整理			
徳島市安宅2丁目	徳島城下町跡安宅2丁目地点		500部
④徳島東部都市計画道路3.4.22号庄名東線関連埋蔵文化財整理			
徳島市名東町・南庄町	名東遺跡・南庄遺跡		500部

(4) 管理運営業務

受贈図書数	1,572冊
-------	--------

(5) 郷土文化教育教材整備事業

学習教材の作成と県内の小学校への配布	製作部数 230部
--------------------	-----------

(6) 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

①対象施設の利用状況	年間来所者数	7,308名
②自主事業の実施状況		
ア 埋蔵文化財企画展・イベントの実施		5回
イ 毎日古代体験の参加者		1,360名
ウ 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理 カウント数		26,612回

(7) 普及事業の共催

- ①いにしえ夢街道推進事業
 - ア アワコウコ楽総合体験講座（アワコウコ楽連続公開講座、アワコウコ楽マイスター）
 - イ いにしえ夢街道交流企画展
- ②埋蔵文化財速報展 発掘とくしま

(8) その他普及事業の開催

- ①埋文WEBの管理運営
- ②埋蔵文化財センター年報の刊行
- ③財団法人徳島県埋蔵文化財センター設立20周年行事の開催
 - ア 企画展示「発掘調査からせまる阿波国府の実像」の開催
 - イ シンポジウム「発掘調査からせまる阿波国府の実像」の開催
- ④各種研修の受け入れ
 - ア 教職員初任者研修会
 - イ 職場体験学習
 - ウ 高校生インターンシップ
- ⑤職員の対外活動 26回
- ⑥発掘現場における普及事業 5回
- ⑦考古資料の活用
 - ア 資料の特別利用（借用・掲載・転載・撮影・実見等） 67件
- ⑧教材等の貸出
 - ア 移動教材セット「体感！阿波の古代人」 5回
 - イ 火おこしセット 1回
 - ウ 複製打製石包丁セット 1回
 - エ 勾玉づくりセット 1回
- ⑨出張授業・体験等の実施
 - 授業・火おこし・勾玉づくり 19回

3 平成 21 年度収支決算

財団法人徳島県埋蔵文化財センターの、平成 21 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	比較増△減額	備 考
1 基本財産運用収入	120,000	120,000	0	
2 事業収入	467,417,000	465,879,000	△ 1,538,000	
3 特定資産運用収入	138,661	174,264	35,603	
4 雑収入	54,640	4,427	△ 50,213	
5 繰越金	2,569,696	2,763,696	194,000	
合 計	470,299,997	468,941,387	△ 1,358,610	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	比較増△減額	備 考
1 事業費	447,057,640	441,130,985	△ 5,926,655	
2 管理費	15,414,000	14,469,000	△ 945,000	
3 特定預金支出	5,064,661	10,570,689	5,506,028	
合 計	467,536,301	466,170,674	△ 1,365,627	

(3) 平成 21 年度収支差額

収入額合計	468,941,387 円
支出額合計	466,170,674 円
次期繰越額	2,770,713 円

(4) 事業量の推移

年度	発掘面積 (㎡)	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000

Ⅲ 調査事業報告

平成21年度は、徳島県からの委託契約に基づき、国・県等の公共事業の事前調査として発掘調査9件を実施した。調査体制は前年度と同様の4班での対応となった。地域別にみると、徳島市5箇所、小松島市1箇所、阿南市1箇所、三好市1箇所、板野町1箇所と県東部を中心に県下全域で調査を展開した。以下、現地説明会を実施した遺跡を中心に主要な成果について述べたい。

川西遺跡（徳島市上八万町）は、徳島南環状道路に伴う発掘調査で、前年度からの継続の調査となった。調査地点は、團瀬川に隣接しており、團瀬川の支流である川北谷川により形成された小規模な扇状地に位置する。遺構面部分には鎌倉時代を中心とする遺構が、團瀬川の旧河道部分には鎌倉時代から室町時代にかけての石積み護岸が検出された。石積み護岸は河道の湾曲部奥の水衝点を中心に築かれており、築造当初は積み方が不規則な形態であったが、徐々に前面にせり出しながら石垣状の垂直な壁面を形成し、さらに河道に直交する突堤状の施設をも付設する。この間、200年以上にわたり機能を維持し、より発展させた遺構の性格は、港湾や庭園の遺構の一部と見る見解や、寺院を核とする宗教的な機能まで想定されるなど、まだ十分明らかになっただけとはいえない。これらの施設の機能時点での河道の本流の位置や水位、古代に国府が置かれた鮎喰川水系との位置関係、出土遺物の性格解明等を俟って検討するものであるが、北側に広がる扇状地での遺構確認が大きな鍵を握る。なお、川西遺跡の石積み護岸遺構はその土木技術史的な価値から全国的にも貴重なものとして、関係者の理解と協力の下、現地で保存の措置が執られた。

宮ノ本遺跡（阿南市長生町）は、平成16年度以降、桑野川の堤防工事に伴って断続的に調査が実施されている。これまでの隣接地の調査で縄文時代～弥生時代にかけての住居、鎌倉時代に区画溝を伴う敷地が確認されている。平成21年度の調査では、古墳時代の竪穴住居6棟が検出され、より継続して遺跡が存続することが明らかになった。大松遺跡（徳島市川内町）は、四国横断自動車道に伴う平成19年度以降継続的に調査が行われている。遺跡は吉野川・旧吉野川の河口域に立地し、東西に広がる遺跡には遺構が集中する2箇所の微高地が含まれる。平成21年度の調査は西側の微高地を対象としており、鎌倉時代を中心として掘立柱建物などの遺構が検出された。同地点周辺はこれまで近世の新田開発を契機に開発されたと考えられていたが、より古くさかのぼる集落形成が確認された。西州津遺跡（三好市池田町）は、猪ノ鼻道路建設に伴う発掘調査で、吉野川北岸の河岸段丘上に立地する。縄文時代～近世にかけての遺構が検出されているが、注目されるのは微高地縁辺部で発見された縄文時代の貯蔵穴である。貯蔵穴は32基検出され、うち13基には堅果類が遺存していた。出土土器などから縄文時代晩期前半のものと考えられ、いまだ確認されていない集落域が発見されることにより、縄文時代の生業についていっそう解明が進むことが期待できる。

そのほかの遺跡では、新居見遺跡（小松島市新居見町）において、古墳時代～鎌倉時代の遺構が確認されている。平成22年度以降に継続調査が計画されている。また、高樹遺跡（板野郡板野町）は条里地割の明瞭に残る沖積地において水田遺構などが検出され、条里制施行等についての知見が得られた。

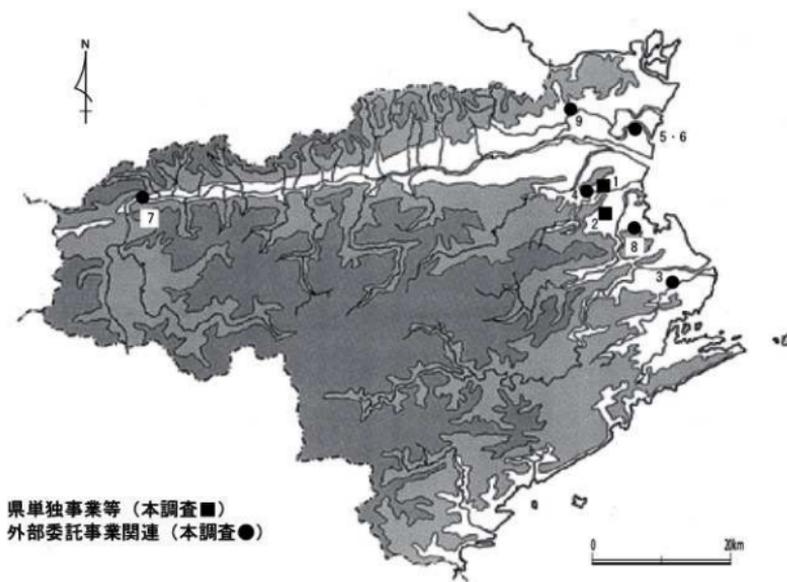
（藤川）

県単独事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1 川北遺跡	徳島市上八万町川北	690㎡ (調査面積) 690㎡ (延べ面積)	H21.11.1 ~ H21.12.31	◎ 弥生時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 江戸時代	溝・土坑・焼土跡、護岸遺構・不整形土坑	弥生土器・石器・土師質土器・須恵質土器・瓦器
2 洗野遺跡	徳島市洗野町宮前	600㎡ (調査面積) 1,200㎡ (延べ面積)	H22.1.1 ~ H23.3.31	◎ 弥生時代 ◎ 鎌倉時代	溝・土坑・灰窯・小穴・不整形土坑	弥生土器・石器・土師質土器・瓦

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
3 宮ノ本遺跡	阿南市長生町	7,750㎡ (調査面積) 7,750㎡ (延べ面積)	H21.4.1 ~ H21.10.31	◎ 弥生時代 ◎ 古墳時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代	小穴・土坑・土壇墓・溝	弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器
4 川西遺跡	徳島市上八万町川西	800㎡ (調査面積) 1,200㎡ (延べ面積)	H21.4.1 ~ H21.7.31	◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代	自然河道・石積み護岸施設・土坑・小穴・溝	木製品・土師質土器・瓦器・須恵質土器・陶器・磁器・瓦
5 大松遺跡	徳島市川内町大松	3,560㎡ (調査面積) 4,720㎡ (延べ面積)	H21.4.1 ~ H20.8.31	◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代 ◎ 江戸時代	土坑・溝・小穴・自然河道	土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・砥石・石製品・貝殻
6			H21.11.1 ~ H22.1.31	◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代 ◎ 江戸時代	土坑・溝・小穴・自然河道・貝塚	土師器・須恵器・瓦器・陶器・石製品・銭貨・釵骨・貝殻
7 西州津遺跡	三好市池田町州津	4,100㎡ (調査面積) 4,100㎡ (延べ面積)	H21.8.1 ~ H22.1.31	◎ 弥生時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代	溝・土坑・小穴・自然河道・不整形遺構	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師質土器・瓦器・陶器・磁器・石器・植物遺体
8 新居見遺跡	小松島市新居見町山路	2,780㎡ (調査面積) 2,780㎡ (延べ面積)	H22.1.1 ~ H22.3.31	◎ 弥生時代 ◎ 古墳時代 ◎ 平安時代 ◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代	土坑・溝・小穴	弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器
9 高樹遺跡	板野郡板野町高樹	240㎡ (調査面積) 240㎡ (延べ面積)	H22.2.1 ~ H22.3.31	◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代 ◎ 江戸時代	水田遺構・溝・土坑・不明遺構	弥生土器・土師器・須恵器・瓦・陶器・磁器



発掘調査地点位置図

かわきた 遺跡

所在地 徳島市上八万町川北
調査期間 平成21年11月1日～平成21年12月31日
担当者 原 佐藤

川北遺跡は、徳島市上八万町川北の沖積平野上に位置し、東（現・圃瀬川）、西（冷田川湿地）に挟まれた微高地にあたる。発掘調査では、近世・中世・弥生時代の遺構・遺物が確認された。弥生時代の堆積層は、圃瀬川の対岸にある下中筋遺跡の弥生時代集落と一連の集落に伴うと考えられる。特に近世の石積み護岸遺構については、蜂須賀氏が阿波に入部した際に圃瀬川の河道を寺山の北側に付け替えたと伝承されることとの関係が窺われる。（原）



1 調査地の位置（徳島）



2 石積護岸遺構（南西より）



3 石積護岸遺構（東より）

しよの 遺跡

所在地 徳島市渋野町宮前
調査期間 平成22年1月1日～平成23年3月31日
担当者 原 佐藤

渋野遺跡は、徳島市渋野町にあり、県下最大の前方後円墳である渋野丸山古墳の西約170mに位置する。調査では鎌倉時代の炭窯や、弥生時代終末期の溝・土坑などが確認された。特に、弥生時代終末期の遺物が多数出土しており、サヌカイト製打製石鏃などの石器や、壺・甕・高杯・有孔鉢などの土器が出土した。この調査地点においては、弥生時代の堅穴住居は確認されていないが、近接地には集落が展開していたものと考えられる。渋野丸山古墳が築造された古墳時代中期以前の集落展開が判明する事例として、重要な成果となった（原）。



1 調査地の位置（徳島）



2 鎌倉時代の遺構完掘状況



3 弥生時代の遺構完掘状況

みや の もと 遺 跡 宮 ノ 本 遺 跡

所在地 阿南市長生町宮ノ本
調査期間 平成21年4月1日～平成21年10月31日
担当者 原 美鳥 佐藤 久保脇 田川

宮ノ本遺跡は、桑野川左岸、阿南市長生町宮ノ本の平野部に位置する。古代から中世にかけての「竹原庄」と呼ばれる荘園の比定地にあたる。これまでに継続して行われてきた発掘調査では、平安時代末から鎌倉時代に溝により区画された集落が大きく発展していたことが判明している。また今回の調査では、古墳時代後期の竪穴住居が6棟が確認された。同地域での古墳時代集落の発見は初めてとなるもので、周辺に分布している古墳群などとの関係からも注目されるものである。(原)



1 調査地の位置 (阿波富岡)



2 調査地の立地状況



3 古墳時代の竪穴住居

かわ にし 遺 跡 川 西 遺 跡

所在地 徳島市上八万町川西
調査期間 平成21年4月1日～平成21年7月31日
担当者 近藤 西本

川西遺跡は、眉山の南麓を流れる圃瀬川の北岸、徳島市上八万町川西に位置する。昨年度、様々な種類の鎌倉時代の木製品が大量に出土した川西遺跡では、新たに、石積み護岸施設が検出された。河川を石積みで護岸したものとしては、国内最古となる貴重な発見で、遺構は現地保存されている。護岸施設は室町時代にかけて、修復や増築が行われ、船着き場としての機能も備わっていたと考えられる。また、鎌倉時代初頭の瓦が出土しており、護岸施設を造ったのは、寺院勢力であるとの見方が有力視されている。(近藤)



1 調査地の位置 (徳島・川島)



2 石積み護岸遺構



3 河道内での瓦の出土状況

おおまつ 遺 跡

所在地 徳島市川内町大松
調査期間 平成21年4月1日～平成21年8月31日
平成21年11月1日～平成22年1月31日
担当者 久保 駿 田川 大北 新居

大松遺跡は徳島市川内町大松に位置する。遺跡内にある二つの微高地のうち西側の地点にあたる。今回の調査では、掘立柱建物跡に伴う柱穴群や大小様々の規模の溝など、平安から鎌倉・室町・江戸時代にまたがる遺構を検出し、それらに伴って遺物が多量に出土した。また、溝や土坑などの遺構の中にはハマグリやハイガイ、シジミなどで構成された小規模な貝塚も多く残され、中には鎌倉時代に遡る貝塚も確認された。遺跡から平安時代まで遡る遺物が出土したことは、吉野川河口域の沖積地が人々の生活の場として使われ始めた時期を知ることができる遺跡として注目される。(田川)



1 調査地の位置 (徳島)



2 鎌倉時代の遺物出土状況



3 鎌倉時代の貝塚

にししゅうづ 遺 跡

所在地 三好市池田町州津
調査期間 平成21年8月1日～平成22年1月31日
担当者 近藤 西本 大北 新居

西州津遺跡は三好市池田町州津にあり、吉野川北岸に形成された標高90～108mの段丘上に位置する。今回の調査では、縄文時代から江戸時代にかけての遺構や遺物を確認した。なかでも特筆すべきものとして、ドングリなどを貯蔵したと考えられる縄文時代晩期前半の貯蔵穴群をあげることができる。貯蔵穴はほぼ円形で、調査区内で32基検出した。縄文時代の徳島を考える上で貴重な資料であり、また30基を数える貯蔵穴群を確認した例は四国ではこれまでになく、西州津遺跡が初めてである。今回の調査地点では、住居などの遺構は確認されていないが、隣接地に集落が営まれていたものとみられ、吉野川流域における縄文時代集落の展開を知ることができる(近藤 大北)



1 調査地の位置 (阿波池田)



2 縄文時代の貯蔵穴群



3 貯蔵穴内の堅果類

新 居 見 遺 跡

所在地 小松島市新居見町山路
調査期間 平成22年1月1日～平成22年3月31日
担当者 近藤 西本 久保 脇 田川

新居見遺跡は、勝浦川の支流である神田瀬川の右岸の小松島市新居見町に位置する。鎌倉時代初め頃のムラからは掘立柱建物跡が4棟以上確認された。また、古墳時代後期～飛鳥（あすか）時代の不整形の周溝状のものや集石状の埋葬施設と考えられる遺構が確認された。背後に当たる南側の山頂には、中期古墳の前山古墳や子持ち勾玉が出土した前山遺跡が存在し、南西側の尾根上の突端には新居見城が知られており、これらとの関係も注目されることである。（近藤）



1 調査地の位置（阿波富岡）



2 鎌倉時代の遺物出土状況



3 古墳時代の遺物出土状況

たか ぎ 高 樹 遺 跡

所在地 板野郡板野町高樹
調査期間 平成22年2月1日～平成22年3月31日
担当者 大北 新居

高樹遺跡は板野郡板野町大寺に所在し、吉野川や旧吉野川によって形成された標高3.5～4.0mの沖積平野に位置する。今回の調査では、中世から江戸時代にかけての土器や、水田土壌・畦畔、溝状遺構などを確認した。検出した溝状遺構と畦畔の方向は真北からほぼ西に10°振っており、これは高樹遺跡の周辺でみられる条里制の方向と一致する。このことから、中世から江戸時代にかけて条里制を踏襲しながら土地開発が進み、水田経営が行われたと考えられる。（大北）



1 調査地の位置（川島）



2 作業状況



3 条里制に伴う溝完掘状況

IV 整理事業報告

平成21年度は、桑野川床上浸水対策特別緊急事業、緊急地方道路整備事業（主要地方道鳴門池田線）、徳島県都市計画道路3.4.22号庄名東線、緊急地方道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）に関連する4事業5遺跡の整理事業を行い、担当研究員4名、整理事業員のべ3,840人が従事した。

桑野川床上浸水対策特別緊急事業関連では、宮ノ本遺跡について、平成20・21年度の発掘調査により出土した資料の、遺物洗浄・注記・接合・復元・実測・トレース・図版作成・観察表作成・原稿執筆・土器の胎土分析・報告書印刷を行った。宮ノ本遺跡では、縄文時代晩期から近世にかけて集落が形成されていることが確認された。12世紀頃に属する遺構・遺物の検出量が増加し、13世紀頃にピークを迎える。これは文献に見られる「竹原牧」「竹原荘」に関連する記載に合致すると推定される。

緊急地方道路整備事業（主要地方道鳴門池田線）関連では、平成16～19年度にかけて実施された拝原東遺跡の発掘調査において確認された遺構・遺物（140箱／490箱）の整理を行った。特に出土遺物の注記・接合作業と遺物抽出を行い、遺物実測に着手した。

徳島県都市計画道路3.4.22号庄名東線関連埋蔵文化財整理事業では、南庄・名東の2遺跡について、昨年度に引き続き平成18・19年度に実施された発掘調査において確認された遺構・遺物の整理を行った。今年度はトレース・図版作成・観察表作成・原稿執筆・報告書印刷を行った。南庄遺跡からは10～11世紀に属する自然流路が検出され、齋串などが出土した。また、古墳時代後期の竪穴住居や溝状遺構も確認された。名東遺跡からは弥生時代中期前半の円形周溝墓や方形周溝墓が確認された。

緊急地方道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）関連では、平成12～19年度の発掘調査により出土した資料の、遺物洗浄・注記・接合・復元・実測・トレース・図版作成・観察表作成・原稿執筆・出土木材の樹種鑑定・報告書印刷を行った。徳島城下町跡安宅2丁目地点は、徳島藩政期に徳島城下町の東部に設けられた水軍の根拠地「安宅役所」に該当し、発掘調査ではそのうちの「御船屋」と推定されるドックが検出された。

出土品整理事業一覧

事業名	遺跡名	所在地	事業者	整理期間	整理担当者	整理概要	備考
桑野川床上浸水対策特別緊急事業	宮ノ本	阿南市長生町	国土交通省 四国地方整備局	2009/4/1～ 2010/3/31	島田 藤川	原稿執筆まで	報告書刊行
緊急地方道路整備事業 (主要地方道鳴門池田線)	拝原東	美馬市脇町	徳島県道路建設課	2009/4/1～ 2010/3/31	栗林 大橋	基礎整理・遺物実測	報告書は平成24年度に刊行予定
徳島県都市計画道路 3.4.22号庄名東線	名東	徳島市名東町	徳島県道路建設課	2009/10/1～ 2010/3/31	大橋	トレース・図版作成・観察表作成・原稿執筆・報告書印刷	報告書刊行
	南庄	徳島市南庄町					
緊急地方道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）	徳島城下町跡安宅2丁目地点	徳島市安宅2丁目	徳島県東部県土整備局	2009/4/1～ 2010/9/30	栗林	遺物洗浄・中期・接合・復元・実測トレース・図版作成・観察表作成・原稿執筆・報告書印刷	報告書刊行

また、本年度は5遺跡の発掘調査成果を報告書として刊行した。

- 徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第77集

「観音寺遺跡(Ⅲ) 徳島南環状道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」

- 徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第78集

「延命遺跡(Ⅰ) 徳島南環状道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」

- 徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第79集

「名東遺跡・南庄遺跡 徳島東部都市計画道路3.422号庄名東線に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」

- 徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第80集

「徳島城下町跡 安宅2丁目地点 緊急道路整備事業徳島東環状線(末広～住吉)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」

- 徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第81集

「宮ノ本遺跡(Ⅱ) 桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」

V 普及事業報告

平成21年度の普及事業は、従来の業務を継承しながらも、いにしえ夢街道推進事業や指定管理者の自主事業等を中心に、更なる充実のための創意工夫を加え、埋蔵文化財の保護・普及・啓発に努めた。

1 管理運営業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存、活用がなお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を行った。

受贈図書数 1,572 冊

2 郷土文化教育教材整備事業

発掘調査で出土した埋蔵文化財を素材に、郷土の歴史についての理解を深め、歴史をより身近なものとして捉え、文化財保護についての関心を抱いてもらい、調べ学習や体験学習につながる郷土徳島の遺跡・遺物を紹介する学習教材（写真パネルと解説文）を作成し、県内の小学校に配布した。

- ・実施期間 平成21年4月1日（水）～平成22年3月31日（水）
- ・テーマ 「ゲンちゃんと学ぼう 徳島の歴史舞台」
- ・内容等 「田井遺跡」「洪野丸山古墳」「阿波国分寺・国分尼寺」「川西遺跡」
- ・制作部数 230部

3 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービスの向上、コストの削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

(1) 対象施設の利用状況

- ・期間 平成21年4月1日（水）～平成22年3月31日（水）
- ・来所者数 7,308名

(2) 自主事業の実施状況

企画展「出土遺物からせまる国府の営み」

- ・実施期間 平成21年8月1日（土）～9月27日（日）
- ・来所者数 1,584名
- ・関連行事 「おもしろ古代体験」ガラス玉を作ろう（平成21年7月27日・8月2日・3日・9日・10日・17日・24日・31日）
- ・参加者数 135名

企画展「阿波の王墓」

- ・実施期間 平成21年10月20日（火）～12月13日（日）
- ・来所者数 1,259名

第3回古代体験まつり

- ・実施期間 平成21年10月24日・25日(日)
- ・参加者数 261名

四国埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」

- ・実施期間 平成22年1月12日(火)～3月7日(日)
- ・来所者数 879名
- ・関連行事

「おもしろ古代体験」コハク玉を作ろう(平成22年1月31日(日)) 参加者数 30名
 調査成果報告会(平成22年2月14日(日)) 参加者数 79名

板野町史跡ウォークⅢ

- ・実施日 平成22年3月27日(土)
- ・参加者数 21名

春休みおもしろ古代体験「銅鑄鑄造体験」

- ・実施日 平成22年3月28日(日)
- ・参加者数 8名

毎日古代体験

実習室や体験テントを利用して、何時でもできる古代体験学習(勾玉づくり・火おこし・縄文ポシェットづくり)を行った。

- ・実施期間 平成21年4月1日(水)～平成22年3月31日(水)
- ・参加者数 1,306名

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

- ・カウント数 26,612

(4) 団体来館対応

No.	期日	利用団体	人数	見学・体験活動内容
1	4/5 午前	石井町東高原子供会	11	勾玉づくり
2	5/1 午前～午後	阿南市福井小学校(6年)	32	勾玉づくり・火おこし・展示見学
3	5/15 午前	板野町板野西小学校(6年)	27	勾玉づくり
4	5/20 午前～午後	美馬市重清西小学校	11	勾玉づくり・火おこし・展示見学
5	5/15 午前	板野町音訳ボランティアグループやまびこ会	20	展示見学
6	5/19 午前	板野町板野東小学校	63	勾玉づくり
7	5/22 午前	佐那河内村佐那河内小学校(6年)	18	火おこし・展示見学
8	5/22 午前	鳴門市北灘西小学校(5-6年)	3	勾玉づくり
9	5/21 午前～午後	藍住町藍住東小学校(6年)	80	勾玉づくり・火おこし・展示見学
10	6/4 午前	高松市香南小学校(6年)	74	展示見学
11	6/5 午後	阿波市市場小学校(6年)	57	勾玉づくり
12	10/14 午前	二水会(大坂)	45	展示見学
13	6/18 午後	松茂町ボランティアグループ「ふきのとう」	15	勾玉づくり
14	9/15 午前	高松市権蔵小学校(6年)	87	火おこし・展示案内
15	9/27 午前	吉野川市シルバー大学OB 25期 銀の会	6	勾玉づくり
16	9/8 午前	奈良大学文化財学科植野ゼミ	9	館内見学
17	10/16 午後	阿波市久壽小学校(6年)	33	勾玉作り・火おこし
18	11/12 午前	吉野川市川島町文化伝承グループ	7	勾玉づくり
19	10/20 午前	阿南市人権ふれあい子ども会指導員会	28	勾玉づくり
20	10/18 午後	鳴門市萩原団地自治会	20	展示見学・勾玉づくり
21	10/30 午前	東かがわ市三本松小学校(6年)	48	勾玉づくり
22	12/4 午後	兵庫縣川西・古代学友の会	28	展示見学
23	11/11 午前	鳴門市島田小学校(6年)	2	展示見学・勾玉づくり
24	11/26 午前	大阪府高齢者大学OB会「考友会」	28	展示見学

25	12/16	午後	阿波市大保小学校(6年)	35	展示見学・勾玉づくり
26	12/13	午前	板野町オリンポス親子会	10	勾玉づくり
27	1/23	午前	稲山グループ	4	展示見学・縄文ボセットづくり
28	1/27	午後	三好市佐野小学校(5・6年生)	9	展示見学・勾玉づくり
29	2/7	午前	鳴門市大津西放課後子ども会	13	勾玉づくり
30	2/26	午前	鳴門教育大木原講座受講生	20	展示見学
31	3/6	午後	神戸山手大学公開講座	13	展示見学
32	3/30	午前	NPO法人なのはは徳島	16	展示見学

4 普及事業の共催

徳島県教育委員会文化財課が実施する普及事業のうち、次の事業について、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターは専門的立場から事業について提案を行い、自主事業として共催した。

(1) 阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業

史跡や埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を語る貴重な財産であることから、県内に点在する文化財を群としてとらえ、関連する文化財や博物館等の施設をつなぐことで、文化財の総合的な活用を図るとともに、関係市町・関係部局との連携や住民の参加と協働による文化財を活かした地域づくりと地域交流の促進による県域の活性化を目指す事業である。平成17年度に県埋蔵文化財センター10周年記念事業として実施した埋蔵文化財総合活用事業をもととして進化・発展させた事業であり、埋蔵文化財センターは以下の事業を実施しながら、その中核的役割を担ったものである。

① アワコウコ楽総合講座

ア アワコウコ楽連続公開講座

「出土遺物からせまる阿波国府の営み」をテーマに講演会や展示解説を行った。

- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・講座内容

第1回 平成21年8月30日(日)

講演1 「阿波国府の手工業生産」上原真人氏(京都大学大学院教授)

講演2 「阿波国府周辺の森林植生と木材利用」中原計氏(徳島大学埋蔵文化財調査室助教)

第2回 平成21年9月6日(日)

講演1 「阿波国府における人と動物のかかわり」西本豊弘氏(国立歴史民俗博物館教授)

講演2 「出土木製品から見た阿波国府の特徴」大橋育順(徳島県埋蔵文化財センター)

- ・受講者数 (第1回) 76名 (第2回) 69名

イ アワコウコ楽マイスター

考古学的成果を踏まえながら、古代の技術・文化を連続的に追体験することにより、県民の埋蔵文化財に対する理解と関心を高めることに努めた。

- ・実施期間 平成21年7月26日(日)～平成21年8月23日(日)

- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター 他
- ・テーマ 「アワコウコ楽マイスター；考古学のお仕事を体験しよう」
- ・講座内容
 - 第1回 平成21年7月26日(日)「埋文のお仕事」
開講式、講座「埋文のお仕事」
 - 第2回 平成21年7月28日(火)～31日(金)「発掘調査」
守護町勝瑞遺跡(藍住町)
 - 第3回 平成21年8月5日(水)「出土遺物の整理1」
遺物の洗浄・接合
 - 第4回 平成21年8月19日(日)「出土遺物の整理2」
拓本・写真撮影
 - 第5回 平成21年8月23日(日)「発掘報告書刊行」
発掘報告書刊行・研究発表・閉講式
- ・受講者数 のべ45名

②夢街道交流促進事業

鳴門市から板野町にかけての地域は、県内有数の古墳集中地帯であり、古墳の発生から古墳時代前期にかけての首長の系譜をたどることのできる希有な地域でもある。「古代王権」の系譜と地域間の交流を中心に、文化財を活かした地域づくりの試みとして企画展とシンポジウムを実施した。

ア 交流企画展

- ・実施期間 平成21年11月7日(土)～平成21年11月23日(月)
- ・実施場所 鳴門市ドイツ館
- ・テーマ 「古代王権のみちー鳴門・板野古墳群の世界ー」
- ・来館者数 870名

イ 交流企画展関連講座

- ・会場 鳴門市ドイツ館
- 第1回 平成21年11月7日(土)
 - 「王墓の発生ー萩原2号墳の調査ー」藤川智之(徳島県埋蔵文化財センター)
 - 「石室の出現ー西山谷2号墳ー」原芳伸(徳島県埋蔵文化財センター)
- 第2回 平成21年11月14日(土)
 - 「天河別神社古墳群の発掘調査について」下田智隆氏(鳴門市教育委員会生涯学習人権課主事)
 - 「鳴門・板野古墳群の世界」菅原康夫氏(徳島県教育委員会文化財課主幹)
- 第3回 平成21年11月15日(日)
 - 「3・4世紀の阿波を巡る地域間交流」西本和哉(徳島県埋蔵文化財センター)
 - 「萩原1号墓・2号墓に使用された石材」石田啓祐氏(徳島大学総合科学部教授)

ウ シンポジウム

- ・テーマ 「古代王権のみち～文化財を活かしたまちづくり～」
- ・日時 平成 21 年 11 月 8 日（日）
- ・会場 鳴門市ドイツ館

講演 1 「文化遺産を考える－社会学の視点から」山泰幸氏（関西学院大学人間福祉学部准教授）

報告 「国指定に向けた鳴門市の取り組み」森清治氏（鳴門市教育委員会生涯学習人権課主査）

講演 2 「古墳の成立と阿讃の首長」白石太一郎氏（大阪府立近つ飛鳥博物館館長）

パネルディスカッション

パネラー 山泰幸氏、白石太一郎氏、三浦啓親氏（NPO 法人まちづくりサークル大麻代表）
森清治氏

コーディネーター

菅原康夫氏（徳島県教育委員会文化財課主幹）

(2) 埋蔵文化財総合活用事業

埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」

平成 20 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し、その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間 平成 21 年 6 月 16 日（火）～7 月 26 日（日）
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・速報展示 宮ノ本遺跡・大松遺跡・川西遺跡・下中筋遺跡
- ・テーマ展示 宮ノ本遺跡・古城遺跡・中島田遺跡・敷地遺跡・中庄東遺跡
- ・関連行事

調査成果報告会（7 月 5 日（日））

川西遺跡・宮ノ本遺跡・大松遺跡

参加者 75 名

講演会（7 月 12 日（日））

「中世阿波の地域構造と交通・流通の特質」長谷川賢二氏（徳島県立博物館専門芸芸員）

「中世の社会と信仰」市村高男氏（高知大学教育学部教授）参加者 116 名

おもしろ古代体験（6 月 21 日（日）・7 月 19 日（日））

ガラス玉づくり

参加者 80 名

遺跡体験見学会（7 月 21 日（火）～24 日（金））

宮ノ本遺跡（阿南市長生町）

参加者 20 名

- ・来所者数 965 名

5 その他の普及事業

(1) 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

- ・アクセス数 40,917

(2) 埋蔵文化財センター年報の刊行

・埋蔵文化財センター年報 Vol.20

500部

(3) 財団法人徳島県埋蔵文化財センター設立20周年行事の開催

①企画展示「発掘調査からせまる阿波国府の実像」

- ・実施期間 平成21年5月1日(金)～6月7日(日)
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・来所者数 1,066名

②シンポジウム「発掘調査からせまる阿波国府の実像」

- ・開催日 平成21年5月2日(土)
- ・内容
報告 「観音寺遺跡の調査成果」 田川憲(徳島県埋蔵文化財センター)
講演1 「阿波の国府と平城京・長岡京」山中章氏(三重大学人文学部教授)
講演2 「観音寺木簡からみた阿波国府」和田萃氏(京都教育大学名誉教授)
パネルディスカッション
パネラー 山中章氏・和田萃氏・田川憲
コーディネーター 藤川智之(徳島県埋蔵文化財センター)
- ・参加者数 102名

(4) 各種研修の受け入れ

①教職員初任者研修会

県教職員研修課主催の初任者研修の一環として、社会・自然体験(郷土を知る)プログラムを行った。

- ・期日 平成21年8月4日(火)
- ・研修内容 講義「埋蔵文化財について」「埋蔵文化財センターの業務」
整理業務・収蔵庫の施設見学、常設展・企画展見学
講義「埋蔵文化財センターの活用方法」
現地研修「周辺の史跡・遺跡見学」
- ・参加人数 21名

②職場体験学習

中学生(板野中学校)の進路指導の一環として、実習体験を行った。

- ・期日 平成21年12月3日(木)・4日(金)
- ・研修内容 整理・普及業務体験(板野郡板野町 埋蔵文化財総合センター)
- ・参加人数 4名

③高校生インターンシップ

高校生(板野高校)の進路指導の一環として、実習体験を行った。

- ・期日 平成21年12月15日(火)・16日(水)
- ・研修内容 発掘調査業務体験(徳島市川内町 大松遺跡)
整理・普及業務体験(板野郡板野町 埋蔵文化財総合センター)



職場体験学習（板野中）

・参加人数 5名



インターンシップ（板野高校）

(5) 職員の対外活動

No	日	内容	参加者
1	4/14・15	「続・発掘へんろ」第1回実行委員会出席（愛媛県松山市・松山市考古館）	栗林・島田
2	4/24	徳島県中世城跡総合調査員の委嘱	石井・藤川・栗林・島田・西本
3	4/30	阿波市文化財保護委員の委嘱	大北
4	5/14・15	全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会出席（愛知県名古屋市）	阿部
5	6/8	いにしえ県民会議総会出席（県庁）	阿部・石井
6	6/11・12	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会出席（北海道札幌市）	近松・三好
7	7/23・24	「続・発掘へんろ」第2回実行委員会出席（高知県南国市・高知県埋蔵文化財センター）	栗林・近藤
8	7/25	徳島市立考古資料館 考古学入門講座「絵画から見た弥生文化」講師（徳島市国府町・徳島市立考古資料館）	近藤
9	8/8	「勝瑞学アカデミー」第2回講座「中世社会を飾る器」講師（板野郡能住町）	島田
10	9/3・4	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロックコンピューター等研究委員会出席（愛媛県松山市）	氏家・植地
11	9/3・4	平成21年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会参加（大阪府大阪市）	西本
12	9/28	いにしえ県民会議第2部会出席（県庁）	阿部・石井
13		「続・発掘へんろ」第3回実行委員会出席（香川県坂出市・香川県埋蔵文化財センター）	栗林・近藤
14	10/29・30	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議出席（愛媛県松山市）	原・野田
15	10/31・11/1	川内町民文化祭への出品の展示と解説（徳島市川内町・川内公民館）	石井・大北
16	11/7	いにしえ夢街道交流企画展連続講座の講師（鳴門市大麻町・ドイツ館）	藤川・原
17	11/15	いにしえ夢街道交流企画展連続講座の講師（鳴門市大麻町・ドイツ館）	西本
18	11/21	特別展「ハニワの世界」記念講演会「四國のハニワ」講師（愛媛県松山市・松山市考古館）	藤川
19	11/26・27	全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会出席（群馬県利根郡みなかみ町）	氏家
20	12/7	いにしえ県民会議第3部会出席（県庁）	阿部・石井
21	1/8	木簡ワークショップ出席（奈良県奈良市・奈良文化財研究所）	藤川・大橋
22	1/28	徳島市文化財保護会での講演（徳島県徳島市）	島田
23	3/5	いにしえ県民会議第1部会への出席（県庁）	石井

(6) 発掘現場における普及事業

平成21年度に発掘中の遺跡等の調査成果を広く県民に紹介した。

No	日	遺跡名	所在地	参加者数	事業	主な内容
1	6/11	川西遺跡	徳島市上八万町	500	徳島南環状道路	鎌倉時代の遺岸施設
2	7/18	宮ノ本遺跡	阿南市長生町	100	桑野川浸水対策	古墳時代住居跡
3	1/20	西州津遺跡	三好市池田町	150	猪ノ鼻道路	縄文時代晩期の貯蔵穴群
4	1/17	大松遺跡	徳島市川内町	60	四国横断自動車道	

(7) 考古資料の活用

資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等 67件

No	申請様式	貸出資料等	員数	貸出先(申請者)	利用目的
1	閲覧・撮影	東林院古墳出土鉄刀	2	垣見 奈緒子	愛媛大学修士論文資料調査
2	出版物掲載	観音寺遺跡等完備状況図版木簡写真	7	大橋育順	『考古学ジャーナル』掲載
3	出版物掲載	観音寺遺跡出土遺物写真	1	徳島新聞社	『徳島新聞』4/28記事
4	その他(展示)	観音寺・敷地遺跡出土遺物他	177	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	『阿波国府の実像』展で展示
5	貸出	矢野遺跡出土銅鐸他	2	荒神谷博物館	『もう一つの青銅器世界』展で展示
6	出版物掲載	矢野遺跡出土銅鐸他写真	1	荒神谷博物館	『もう一つの青銅器世界』展図録ポスターチラシ掲載
7	出版物掲載	『大杉遺跡Ⅱ』出土遺物図他	9	三古秀充	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
8	出版物掲載	『矢野遺跡Ⅰ』平・断面図	1	宮澤明久	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
9	出版物掲載	『丸山遺跡-四国縦貫-』出土遺物実測図	1	郡司早直	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
10	出版物掲載	『四国縦貫…Ⅰ』『四国縦貫…6』実測図	4	氏家敏之	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
11	出版物掲載	『神宮寺遺跡』土井遺跡Ⅰ実測図	9	池澤敏幸	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
12	出版物掲載	『西山谷古墳群』『蓮華谷古墳群Ⅱ』他実測図	5	光本 順	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
13	出版物掲載	『矢野遺跡Ⅲ』他実測図	14	田川 憲	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
14	出版物掲載	『大杉遺跡Ⅰ』他出土遺物図	35	高浅利彦	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
15	出版物掲載	『真光前田遺跡』他実測図	26	幸泉満夫	『山典選暦記念論集「考古学と地域文化」』掲載
16	閲覧・複写	『観音寺遺跡Ⅱ』他木製武器	11	津野 仁	古代の武器(弓)具具の研究
17	閲覧・撮影	矢野遺跡出土銅鐸	1	北井利幸	特別展事前資料調査
18	出版物掲載	矢野銅鐸復元木製容器写真	1	荒神谷博物館	特別展『もう一つの青銅器世界』図録掲載
19	出版物掲載	『丹井遺跡』出土けつ状耳飾写真	1	山川出版社	『徳島の歴史散歩』掲載
20	貸出	大代古墳出土土槌等	30	鳴門市教委	鳴門板野古墳群調査検討委員会資料
21	出版物掲載	稲持遺跡出土勾玉写真	1	山川出版社	『徳島の歴史散歩』掲載
22	出版物掲載	観音寺遺跡出土木簡写真	1	読売新聞社	朝刊文化面『観音寺遺跡出土木簡に見る国司像』掲載
23	出版物掲載	『観音寺遺跡Ⅱ』他木製武器実測図	10	津野 仁	弓は機関誌『日本考古学』巻は『とちぎ埋文研究紀要』掲載
24	展示	西環状出土木簡等全	217	(財) 徳島県埋蔵文化財センター	企画展『出土遺物からせまる阿波国府の営み』展示
25	貸出	矢野遺跡出土銅鐸他	2	榎原考古学研究所	特別展『銅鐸-弥生時代の青銅器鑄造-』展示
26	出版物掲載	矢野遺跡出土銅鐸他写真	2	榎原考古学研究所	特別展『銅鐸-弥生時代の青銅器鑄造-』図録掲載
27	閲覧・複写・撮影	矢野遺跡出土土器	70	乾 茂年	奈良大学修士論文資料調査
28	出版物掲載	観音寺遺跡出土木簡赤外線写真	32	大橋育順	『木簡研究』31号掲載
29	貸出・掲載	田宮遺跡調査報告書	1	木村太亮	夏休み自由研究に使用
30	出版物掲載	川西遺跡遺構写真	3	川西英器	川西集会所常設展示
31	出版物掲載	観音寺遺跡出土木簡77号写真	1	渡辺晃宏	論文『日本古代の習書木簡と下級官人の漢字教育』掲載
32	その他(パネル展示)	犬山古墳群天神山古墳石槌・寺山遺跡古銭出土状況写真	2	徳島県立博物館	特別陳列『八万の昔を探ろう』にパネル展示
33	出版物掲載	宮ノ本遺跡・出土遺物写真	3	阿南市企画部	広報『あなん』10月号掲載
34	閲覧・複写・撮影	矢野遺跡出土土器	58	乾 茂年	奈良大学卒論資料調査
35	貸出・撮影・出版物掲載	大杉遺跡出土分銅形土製品他・同写真	36	徳島市立考古資料館	企画展『絵画が語る弥生人の世界』に展示、図録に掲載
36	その他(展示)	大松遺跡出土遺物	43	徳島市川内公民館	『川内町民文化祭』埋蔵文化財紹介コーナーに展示
37	貸出	大井遺跡出土鉄剣、大里前田遺跡出土遺物他	10	海陽町立博物館	企画展『海陽町の道路を探る』に展示

38	貸出・出版物掲載	下中館遺跡全景写真・川西遺跡全景写真	2	下田順一	授業で使用、「地域の歴史カレンダー」に掲載
39	閲覧・撮影	蘇原2号墳出土銅鏡	1	川西古代学友の会	前期古墳出現の研究
40	出版物掲載	矢野遺跡出土銅鐸	1	吉川弘文館	寺沢薫著「青銅器のマツリ政治社会」に掲載
41	閲覧・複製・撮影・支那	大代古墳出土銅板式舟形石棺レプリカ	1	大代歴史文化保存会	展示複製品作成のための資料調査
42	閲覧・撮影	大楠・敷地遺跡出土熊形土器	45	山崎香菜恵	高知大学士論論文資料調査
43	出版物掲載	足代東京遺跡出土動物形土製品写真	1	東みよし町教育委員会	広報「東みよし」2月号掲載
44	閲覧	田井遺跡出土遺物全	17	美波町教育委員会	展示模造品作成のための資料調査
45	撮影・出版物掲載	坊僧遺跡出土国形ナイフ石器写真	1	橘植男	徳島民俗学会で発表(2010.0213)時の配布資料として使用
46	借用・出版物掲載	矢野遺跡出土土製仮面写真1点	1	(株)ぎょうせい	日本の美術527「土偶とその周辺Ⅱ(縄文後期～晩期)」に掲載
47	閲覧・撮影	薩生田遺跡出土縄文土器	2	向井公紀	船瀬温泉トウキイベントにおける写真展示
48	貸出・出版物掲載	田井遺跡の遺構・遺物写真、拓本	一式	美波町教育委員会	田井遺跡関連施設整備工事業に使用するため
49	出版物掲載	川西遺跡遺構写真	1	(株)昭和堂	『日本中世都市の見方・歩き方』(藤柄俊夫著)に掲載
50	閲覧・撮影	矢野遺跡出土土製仮面	1	弥生文化博物館	22年度夏季特別展展示用資料調査
51	閲覧	観音寺遺跡出土木簡	14	飛鳥資料館	22年度秋季特別展展示用資料調査
52	出版物掲載	観音寺遺跡出土木簡写真	1	名古屋大学出版会	富谷至著「文書行政の演進図」(2010年3月刊行予定)掲載
53	出版物掲載	西州津・東州津遺跡遺構遺物写真	10	著蔵公民館	著蔵公民館常設展示
54	閲覧・模写・撮影	中島田遺跡等出土土師器椀	83	鈴木康之	古備系土師器椀等の資料調査
55	出版物掲載	寺山遺跡出土埴輪銭写真	1	高島芳弘	博物館ニュース掲載
56	出版物掲載	大代古墳遺跡写真	10	大代歴史文化保存会	模造品「銅板式舟形石棺」展示室常設展示
57	閲覧	上坂町内遺跡出土遺物全点	一式	上坂町文化財保護審議会	委員会研修、遺物の保管・活用状況の把握
58	その他(WEB掲載)	西長峰遺跡出土分銅形土製品等写真	3	(株)あわわ	「とくしまグリーンツーリズム」HP掲載
59	閲覧	中庄東・宮ノ本遺跡出土土器	46	佐藤亜聖	徳島県・高知県の中世土器様相研究資料調査
60	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(松山市)展示
61	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(高知県)展示
62	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(香川県)展示
63	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(徳島県)展示
64	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(大分県弥生文化博物館)展示
65	貸出・撮影・出版物掲載	矢野遺跡出土打製石包丁等	47	(財)埋文セ	続・発掘へんろ(図録等)掲載
66	貸出・出版物掲載	田井遺跡出土遺物	17	美波町教育委員会	田井遺跡関連施設整備工事業の展示模造品作成
67	閲覧・模写・撮影	前田遺跡出土有茅尖頭器他	3	山手貴生	論文作成に伴う資料調査



移動教材セットを使つての指導



火おこし体験



勾玉作り体験

(8) 教材等の貸出

教材等の貸出状況

8 回

No	貸出日	返却日	利用団体	利用人数	教材名
1	4/15	4/25	城北高校 (2・3年生)	120	移動教材セット
2	4/20	5/22	美馬市教育委員会 (市内小6年生)	50	移動教材セット
3	4/23	4/28	徳島市内町小学校 (6年生)	64	移動教材セット
4	6/5	6/17	大麻中学校 (1年生)	87	移動教材セット
5	8/22	8/23	長生小学校いずみクラブ	281	火おこしセット
6	9/18	10/7	長生小学校 (6年生)	23	打製石包丁
7	11/24	12/4	鳴門教育大木原講座 (2・3年生)	13	勾玉作りセット
8	12/22	12/28	国土交通省職員研修	40	移動教材セット

(9) 出張授業・体験等の実施

授業・火おこし・勾玉づくり

19 回

No.	期日	利用団体	人数	内容
1	4/30	美馬市芝敷小学校 (5・6年生)	20	移動教材セット・勾玉作り
2	5/19	吉野川市川島小学校 (6年生)	47	移動教材セット・勾玉作り
3	5/7	徳島市内町小学校 (6年生)	32	移動教材セット・勾玉作り
4	5/30	鳴門市島田小学校 (家庭支援)	5	移動教材セット
5	6/20	上板町上板子どもフェスティバル	15	勾玉作り
6	7/28	阿波市市場図書館サマーセミナー	10	勾玉作り
7	5/28	阿南市津乃峰小学校 (6年・特支)	40	移動教材セット・勾玉作り
8	7/7	阿南市長岡東識字学級	15	勾玉作り
9	7/23	阿南市長生小学校いずみクラブ保護者会	30	火おこし
10	7/10	那賀町立相生中学校 (1年)	25	移動教材セット
11	12/13	美波町子ども会連合会	7	移動教材セット・勾玉作り
12	8/2	美波町由岐公民館	35	移動教材セット・勾玉作り
13	8/1	阿南市橋小学校親子子ども会	30	勾玉作り・火おこし
14	8/22	長生小学校いずみクラブ	281	火おこし
15	9/12	阿波市吉野宮井図書館	10	移動教材セット・勾玉作り
16	8/2	上板町立歴史民俗資料館	15	移動教材セット・勾玉作り
17	9/18	阿南市長生小学校 (6年)	23	石包丁による穂積み体験
18	12/6	阿波市土成図書館	10	移動教材セット・勾玉作り
19	12/7	吉野川市西麻植小学校 (4年生親子)	26	移動教材セット・勾玉作り

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 21

—平成 21 (2009) 年度—

平成 23 年 3 月 23 日

編集・発行 公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2
TEL (088) 672-4545 FAX (088) 672-4550
HP <http://www.tokushima-maibun.net> E-mail awapac@jt6.so-net.ne.jp

印刷 ㈱教育出版センター
〒 771-0138 徳島県徳島市川内町平石流通団地 27 番地